

授業科目名	看護理論 (2300202)		
時間割名	看護理論 (15204)		
時間割担当	守本とも子		
実施期	後期	単位数	1 必修
曜日・時限	月・5		

授業の目標・概要

ナイチンゲールの「看護覚書」を始めとし、その後様々な看護理論が生まれてきた。代表的な理論家の理論がどのような医療環境や社会背景のもとに構築されてきたかを知る。また、それらの理論が看護実践の根拠となることを理解し、看護過程の展開に有効に活用する方法を学ぶ。さらに、看護理論を学ぶことで、看護についての考え方を整理・検討し、自らの看護観構築への礎になるようつなげる。

学習の到達目標

様々な看護理論が現れてきた社会背景を知る。そのうえで、看護の見方、考え方の基礎として、代表的な看護理論家の理論を学ぶ。そして、看護理論が看護実践の根拠となることを理解し、その活用方法を学ぶ。さらに看護理論を看護研究に活用するための方法について理解する。講義が進むなかで看護についての考え方を整理・検討し、自らの看護観構築への礎になるようつなげる。

授業方法・形式

講義（一部グループワーク）

授業計画

- 第1回 導入：授業ガイダンス、学習方法の説明
看護理論の解釈：主たる看護理論家の理論について解説
ナイチンゲール、ヘンダーソン
- 第2回 看護理論の解釈：主たる看護理論家の理論について解説
大理論、中範囲理論
- 第3回 グループワーク 学生が選択した看護理論の訳本を精読し、グループでディスカッション
看護理論家が主張する看護観について理解する
- 第4回 グループワーク 学生が選択した看護理論の訳本を精読し、グループでディスカッション
看護理論家が主張する看護観について理解する
- 第5回 グループワーク 学生が選択した看護理論の訳本を精読し、グループでディスカッション
看護理論家が主張する看護観について理解する
- 第6回 学習成果の発表
- 第7回 学習成果の発表
- 第8回 まとめ 看護観について

成績評価の基準

グループワークへの取り組み状況20% 定期試験80%

授業時間外の課題

主たる看護理論家の著書2冊を熟読しておくこと。

メッセージ

講義時間内にお伝えします。

教材・教科書

看護理論家とその業績 都留伸子 監訳 医学書院
ロイ看護論 松本光子 訳 メジカルフレンド社
オレム看護論 小野寺杜紀 訳 医学書院 他

参考書